

令和6年度 立川市立第二小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	○健康で明るい子 ○進んで学習する子 ◎心豊かで思いやりのある子
---------	--

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
○自己受容力、自己肯定力、最後までやり抜く力 ○見通しをもつ力、創造する力、思考力・判断力・表現力 ○他者を受け入れる力、折り合いをつける力	・児童が見通しをもって主体的、対話的に活動できる題材や内容、説明させる場面設定の工夫をする。 ・グラフや表を扱う際には、表題を読み、縦軸・横軸が表しているものや1目盛りに着目させるよう指導を工夫する。

教科	本校の児童の課題になっている点やさらに伸ばしていきたい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力	・自分の思いを文章で表現できるように、読書や音読などの活動を通して語彙を増やす指導を行う。 ・目的を意識しながら文章を読み、中心となる語や文を見付けてまとめていく活動に取り組むことができるようにする。
社会	○主体的に問題解決しようとする態度 ○様々な資料や調査活動を通して情報を調べ、まとめる技能	・児童が主体的に取り組めるよう、知的好奇心を高める資料の提示や資料の精選を図る。 ・資料を読み取る学習では、二つの資料を比較し共通点、相違点について考える活動を取り入れ、学習の繋がりを意識することができるようにする。
算数	○割合の学習において、「基準量と比較量から割合」「割合と基準量から比較量」「比較量と割合から基準量」を求める力	・全国学力状況調査では、全国平均に比べ、10ポイント以上高い結果であった。更に平均点を高めるため、比較検討の場面では、複数の考え方の共通点や相違点について、説明し合う活動を取り入れる。 ・割合や倍の見方の学習では、数直線や図を用いて、基準量（もとにする量）を捉えることができるようにする。
理科	○基本的な知識や技能 ○実験から得られた結果を考察し、自分の考えをもったり、新たに調べてみたいことを考えたりする力	・結果をまとめる際に、表やグラフを有効に活用できるようにする。 ・単元計画立案の際に、問題解決のどの過程（仮説設定、結果の考察など）に重点を置くかを明確にして学習を進めることができるようにする。

生活	<p>○身近な自然に興味をもち、自然とのかかわりを大切にしようとする態度</p> <p>○身近な自然や社会とのかかわりから気付いたことを工夫して表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や公園などの身近な自然と触れ合う機会や、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。 ・体験活動を十分に行い、気付きを共有する場を設定し、振り返りを丁寧に行う。
音楽	<p>○楽しみながら取り組む力</p> <p>○音楽の基礎的な知識の理解や、思いや意図をもって表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の知識を理解し、技能に生かしていくために、読譜や即興的な表現活動に取り組む。 ・音楽のよさを見だし、表現に対する意図や思いをもって音楽表現に生かしていくために、友達と関わり合いながら、試行錯誤する場面を設定する。
図画工作	<p>○自分なりの発想をもち、積極的に活動する力</p> <p>○見通しをもって計画的に活動する力</p> <p>○異なる考え方、異なる見方を理解し、自分の見方や感じ方を広げたり、深めたりする力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして、計画を立て、活動に取り組むことができるようにする。 ・友達の活動や作品を見て、意見を交わし見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるようにする。
家庭	<p>○映像などによる理解と、基礎的な技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活をよりよくすることを児童に実感させるために、学習内容を身の回りのことに関連付けて考えることができるようにする。 ・実習で習得した技能を家庭でも活用できるように、実践を報告する課題を設定する。
体育	<p>○基礎体力や、特に課題のある跳力や投力</p> <p>○運動や健康について自己の課題を見付け、解決に向けて思考したり、他者に伝えたりする力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入時に学年に応じた「跳ぶ運動」「投の運動」を意図的に取り入れる。 ・自分の課題を見付けたり、他者に伝えたりするために、タブレットPCの動画機能や学習カードを活用する。
外国語	<p>○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</p> <p>○正しく英語を書く力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しみながら外国語に触れられる活動を毎時間取り入れる。 ・4線を意識してアルファベットの大文字、小文字を書く活動を取り入れる。